

# 「日本語パートナーズ」学生6人 ミャンマーで交流深める



日本語パートナーズとして活動した6人(1月23日)

日本語と日本文化を海外に派遣された。現地で紹介する「日本語パートナーズ」として、専ら文化や日本の大学生活についてプレゼンテーション。大生6人が12月、ミャン

マに派遣された。現地で紹介する「日本語パートナーズ」として、専ら文化や日本の大学生活についてプレゼンテーション。大生6人が12月、ミ

マに派遣された。現地で紹介する「日本語パートナーズ」として、専ら文化や日本の大学生活についてプレゼンテーション。大生6人が12月、ミ

## 日本文化や生活紹介

大学が選ばれた。メンバーは塩澤聖也さん(院文修1)、戸田隼介さん(商4)、秋間恵太

大学が選ばれた。メンバーは塩澤聖也さん(院文修1)、戸田隼介さん(商4)、秋間恵太

大学が選ばれた。メンバーは塩澤聖也さん(院文修1)、戸田隼介さん(商4)、秋間恵太

大学が選ばれた。メンバーは塩澤聖也さん(院文修1)、戸田隼介さん(商4)、秋間恵太



専修大学生はどんな人なんだろう? (What kind of person is a student of Senshu University?)

専修大学生はどんな人なんだろう? (What kind of person is a student of Senshu University?)

専修大学生はどんな人なんだろう? (What kind of person is a student of Senshu University?)

## 経済・長尾ゼミと法大のゼミ 合同研究発表会を開催 「地域経済・地域振興」テーマ



合同ゼミで発表する専大チーム

んは健康志は緊張感が伴い、学生にとって刺激になっている。今後も継続していきたい」と話していた。

**岩田教授が海外研究員に**  
相馬学術奨励基金  
若手研究者の海外派遣などを行う相馬学術奨励基金の2019年度海外研究員に、経営学部の岩田尚教授(平17院経営)が選ばれた。

岩田教授は管理会計が専門。派遣期間は3月1日から1年間。

フランスのリヨン東アジア研究所で、産業界からスターに集う組織が、マネジメント・コントロール・システムの観点からどのように連携しているか、その役割について研究する。

商・渡辺ゼミ

## 神田の魅力が学生目線で

### 靖国通り商店街の紹介冊子を作成



来年度から(くりを)と関連させながら「連合会サポーター」として、地域マーケティングの理論を学び、まちづくりや商店街活性化の現場で活動。2016年10月、靖国通り商店街の紹介冊子を作成。渡辺達朗ゼミの3年次生が、神田キャンパスに近い靖国通り商店街連合会を紹介する冊子「写真」を作った。

渡辺ゼミは「学生目線で捉えた神田の魅力を知ってほしい」とアピールしている。

渡辺ゼミはSDGs11(住み続けられるまちづくり)の3年次生が、神田キャンパスに近い靖国通り商店街連合会を紹介する冊子「写真」を作った。

渡辺達朗ゼミの3年次生が、神田キャンパスに近い靖国通り商店街連合会を紹介する冊子「写真」を作った。



冊子には30店を掲載。取材に基づいた店の情報のほか、手書きでコメントも添えた。店ごとにQRコードも掲載しており、ネット上の元の記事

冊子には30店を掲載。取材に基づいた店の情報のほか、手書きでコメントも添えた。店ごとにQRコードも掲載しており、ネット上の元の記事

冊子には30店を掲載。取材に基づいた店の情報のほか、手書きでコメントも添えた。店ごとにQRコードも掲載しており、ネット上の元の記事

冊子には30店を掲載。取材に基づいた店の情報のほか、手書きでコメントも添えた。店ごとにQRコードも掲載しており、ネット上の元の記事



店を取材するゼミ生

冊子には30店を掲載。取材に基づいた店の情報のほか、手書きでコメントも添えた。店ごとにQRコードも掲載しており、ネット上の元の記事

## 高大連携聴講生修了式

高大連携聴講生の修了式が1月25日、専修大学サテライトキャンパスで行われた。



中野副座長(右)から修了証を受け取る聴講生

今年度は高大連携協定校(神奈川県川崎高校、生田東高校)の3年生3人、専大附属高校の2、3年生7人の計10人が「日本近代史」「商学基礎」「人文地理学概論」の授業を受けた。

修了式後、関係者交えた懇談会が行われ、聴講生からは「授業のスピードに驚いたが、知識を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました」「大学への興味が深まった。来年度も大学の講義を受講したい」などの感想が寄せられた。

経済学部の長尾謙吉ゼミと法政大学経済学部の近藤章夫ゼミが「地域経済・地域振興」をテーマとした合同研究発表会を12月20日、専修大学神田キャンパスで開いた。

専大からは5チーム、法大からは6チームが参加し、「恋愛観の変化と未婚の地域格差」「地方創生のめぐる教育とアート」などのタイトルで研究成果を発表した。

教員の研究分野が同じであることからゼミの交流を始め、9月には合同見学会を行っている。

専大の一番手として山口華穂さん(3年次)から「チームが「ドーナツチエーンの競争と立地」と題し、ドーナツ業界の歴史、現状、今後の展望について発表した。山口さん

岩田教授は「最初は質問タイムでは、法大生から「コンビニのドーナツとの差別化は？」などの具体的な質問が相次いでいた。

長尾教授は「最初は質問が出るかどうか不安だったが、お互いに積極的発言し、議論が盛り上がった。知らない人に分かりやすく、きちんとしたプレゼンをする機会が少ない。この研究発表会